

## 高齢者の疾病発症状況における看護師の臨床知

立命館大学大学院  
応用人間科学研究科  
対人援助学領域  
人間形成・臨床教育クラスター  
山田 由紀

キーワード： 高齢者、臨床知、看護師

本研究の研究目的は、高齢者の疾病状況における看護師の臨床知を探究していくことである。

高齢者の疾病発症状況における臨床経緯では、成人患者と異なる病態経過を辿ることが以前より様々な文献において示唆されていた。本研究では、老健施設に5年以上勤務する看護師に半構造化面接を実施し、高齢者の疾病発症状況における看護師の認識判断を検証した。研究方法には、現象学的アプローチの1方法論である解釈学的手法を用いて、質的に解釈分析した。分析の結果、3つの上位カテゴリー、10の下位カテゴリーが抽出された。上位カテゴリーは、〈知識基盤〉〈分析判断様式〉〈実践過程〉であった。老健施設の臨床知として重要な技能は観察力、本質的要素として配慮的、顧慮的相互過程が挙げられた